

## 波 紋

1988

9

## ＜ 良い先輩の条件 ＞

- 一、自分の「役割」をきちんと果たしている。
- 二、自分に厳しく、他人に深い「思い遣り」をもっている。
- 三、「気配り」が十分である。
- 四、仕事「計画的」であり、「目標意識」を常にもっている。
- 五、常に「向学心」があり、常に「勉強」している。
- 六、他人のせいにすることなく、「責任感」が強い。
- 七、少々のことではうるたえない「タフ」さがある。
- 八、「指導力」(又は、めんどろみの良さ)がある。
- 九、「理論」だてて「説得力」がある。
- 十、「率先」して先頭になって行なう「行動力」がある。
- 十一、良いことは「素直」に聞ける「心」がある。
- 十二、その人の為を思い、注意してあげることができる「優しさ」がある。
- 十三、「私生活」もきちんとしている。
- 十四、常に高い「感性」をもっている。(一番むつかしい)
- 十五、見て見ぬふりができない人(そつする場合もあるけど)

## 交 差 点

## ゆったりバカンス

今年の夏休みはモーリンにしては、ロングランの休暇だった。

休み中に会社へ、やり残し仕事をかたずける為に出社した。

私と同じような人が大勢いると見え、5人もの社員に会った。

自宅にジットしている事が出来ない性格なのですね。それと責任感が強いのと……。

世間では大型バカンス、レジャーと言われている、私も、海か、山、高原の、こぎれいなペンションに泊り、ゴルフ・テニスや釣を楽しむつもりでいたのだが、出来なかった。

今年は特に、「新社屋建設」で頭の中が一杯いです。建物の色目・デザイン、事務所内部のレイアウト、諸設備の更新・配置等々です。

来年の今頃に完成予定で進めています。モーリンググループ10年先の将来を見据えて計画し、夢のある建物にしたいと思っています。

建物を見ただけで、会社のポリシー、発想、哲学。社員の皆さんの考え方が、イメージされるようなそんな新社屋を建てます。

皆さんの良い知恵、アイデアをどんどん、私の元へ寄せて下さい。先輩に自慢の出来る新社屋を作りましょう。

森 信之



## トシ君の一方通行

木村 英利

古い話になりますが、例のリクルート問題でありまして、誠にうらやましい話であります。法的にはなんら問題は無いのでありまして、要するにこれもひとつの人脈交流でありましょうか。

儲け話を、お世話になった人に教えるんです。なに金なんか出してあげればいいんです。法的になんら問題がないにも関わらず、政治家の皆さんは、「ありや、秘書が勝手にやった事だから知らん。」と、おっしゃるから話が全然つじつまが合わなくなるんですね。こういうのを、ミエミエというんですわ。いえ、何も私は(株)の事で文句を言っているんじゃないんです。ゴルフをワンハーフ、ラウンドして、高級料亭へ行き、それから、高級クラブへ国民の金で行って、家へ帰る途中で運転手つきの高級乗用車の窓ガラスを開けて、毎日コッコツと一生懸命働いている、しょぼくれた国民に、「オイッ! しっかり働けよ。」と、言っているような気がするだけです。

そして、税制改革という国民にとって、大変関心のある問題を、「秘書がやった事だ。」という人に、まかせるんです。

そういう政治家を選出した国民の皆さん! 我々とはかく、ひたすら働きましょう。

本日はこれまで!

## 『フォーシーズンズ』

牧野 光昌

日本人は真似が好きだそうです。たとえば、DRYが出たらビール会社はもちろん、日本酒から炭酸飲料・チョコレート・あられ。あぐくのはては、ハンバーガーやピザまでDRYだそうです。何を考えとんのかと、言いたくなります。

個性が重要なものであるとするならば、日本人はあまりにも仕事をしすぎる。(へっしして勤勉とは言えないでしょう。時間が長いだけだから。)

個性は決してONタイムには成長しない。個性が成長するのはOFFタイムである。

そして、ONタイムに充実した個性を発揮するのである。発揮すれば消耗します。

消耗した後は、流されるだけの人間になってしまいます。そうすると、皆DRYになってしまふんです。それもピザかハンバーガーのDRYです。

アサヒのDRYはたしかにうまい。だけど、チョコレートのDRYなんか存在するだけでも腹がたつ。

皆さん、こだわりのOFFタイムを持って輝きのONタイムを継続しましょう。

## 夏休み読書感想文

### 「これが消費者だ」(山本守之著)

吉岡 孝記

税金といってもあまりにも無頓着で、給料をもらって明細を見てたくさん取られるものだなあと思うくらいで、特別気にもしていない

かったのですが、この本を読んで、少しは税のことに関心がわいて来ました。

この中でわが国では「広く薄く税を負担する体系」とよく言われていますが、国民の所得が高くなり、一億総中流といわれるようにその所得が平準化し、しかも、社会保障が充実しているというのであれば、税に所得再分配の効果を期待する必要は、相対的に低くなっているというのですが、わが国では直接税が中心で、直接税は納税者の負担能力に応じて税を課すことになっていきますので、高所得者には高い税率で多く負担を、低所得者には低い税率で少ない負担をとこう考え方であるが、これに対して間接税では、消費の量を基準として課税しますから、必ずしも負担能力に応じた課税ではなく、例えばヘビースモーカーな人は、「たばこ消費税」を相当負担しているのですが、所得ランキング上位の人が、その所得に応じてタバコを吸っているとは限らないわけです。

間接税は、物の値段に含まれて、知らないうちに負担してしまうので、直接的な税痛を伴わないという長所を持っているが、高額所得者ほどたくさんその税を負担するわけではなく、生活保護を受けている人も負担しなければならぬという短所もあります。

これは一つの例ですが、いろいろ読んでいく内にいろいろ矛盾があることに気がきました。所得水準が高いことと、生活水準が高いということは同じではないということです。税制改革と言っても、非常に複雑であるように思いました。

これからは、注意して税のことにも耳を傾けて行きたいと思えます。

## 夏休み読書感想文

「お母さん、ごめんなさい」

須永 博士著

今村 千草

この本は、詩なんです、ある人に進められて、一度読んでみたくなった本です。

私は、中学生の頃から詩が大好きで、読むだけでなく、自分で作ってみたりもしました。

この本の中で、大好きな詩って言うのは、数々ありましたが、その中で私が励まされた詩……を書きます。

『みんな苦しみながら、大きくなって、いくんだよ。みんなどんなに辛い思いをしたか、わからないんだよ。』

ただそれを、言葉に出さず、じっと耐えてきたんだよ。

人間自分に負けるのが一番弱い人間なんだよ。苦しいときは、みんな苦しんだよ。

その時、明るく笑顔で生きぬくのが、強い人間なんだよ。

あなたなら絶対やれる。  
がんばってごらん。』

この本を読むと、すごく勇気が湧いてきます。どんな時でも微笑をたやさず、いつでも明るく過せれば、最高だなって、この詩を読んで思いました。この著者は、苦しくとも、

淋しくとも、前へ進んで……とにかく、にげるな！と言う事を言いたいのか……。自分の人生にげて終りたくない。自分の力で正面からぶちあたり、それを、乗り越えて行きたいです。

この本を読んでそう思いました。

この愛が永遠につづくために、お互い思いやりを忘れず生きて行こう。お互い他の幸せも気づかい生きて行こう。お互い、いつわりなく生きて行こう。この愛がいつまでも

幸せであるためにあなたと私決して離れず生きて行こう。

## 新編集員紹介



この度、編集部員の仲間入りをする事になりました今村千草です。

入社してから4ヶ月が過ぎましたが、ようやく仕事にも慣れてきました。でも、まだまだ皆さんの足を引っぱってしまう始末です。

編集部の仲間入りをしたからには、一生懸命頑張りたいと思いますので宜しく願います。

今村 千草

いきなり、写真を撮って原稿用紙を渡されて、何だろうと思っていたら先輩方に加わっての新編集部員ということ……。

なにしろ、今まで自分で積極的にやったものといえ、高校3年の時の体育祭ぐらいで、あとは面倒くさがって人まかせだったものから、今回もまさか自分達がやることになるとは思っていませんでした。

でも、やるからには毎回、楽しく為になるものを作りたいと思います。

そして、フレッシュさが出るようがんばりたいと思いますので、みなさん御協力よろしく願います。

宝田 かおる

編集員としての抱負は、とにかく一生懸命やりたいと思っています。作文は一番苦手で頭をなやまされますが、一つの勉強として、私なりに頑張りたいと思います。

亀井 敏代

今度、編集委員の一員をやらせて頂く事になりました。

私は文章を書くのが苦手、作文といえ、頭を悩ませるばかりです。しかし、これも何かの勉強と思っ、自分なりに頑張ってみようと思います。

こんな私ですが、これからもおもしろい社内報にするため、少しでもお手伝い出来ればと思っております。宜しく願います。

水野 陽子

## 今月の社内行事

- 五日 幹部会議 午前七時半より
- 十二日 幹部会議 午前七時半より
- 十五日 敬老の日 休日
- 十七日 F・M・S 午前七時半より
- 十九日 幹部会議 午前七時半より
- 二十日 中堅幹部会議 午前七時半より
- 二十三日 秋分の日 休日
- 二十四日 Y・M・S
- 二十六日 幹部会議 午前七時半より

## 我が家の事件簿

### 夏休み

楽しい夏休みも、もう少しで終ろうとしています。

我が家の子供達も「お休みなんだから、どこかへ遊びに行こう」といろいろ想像しながら、父親にねだっている。なぜ父親なのか？子供にちよっと聞いてみたら「だって母さん車運転出来ないから、どこへも行けないよ」なるほど、単純な返事がかえって来た。

それなら今年は一泊二日ぐらいで、デイズニerlandへ出かけよう、計画をたて指折り数えていたのに、父さんの仕事の都合で、休みがとれず、予定だけで終わってしまいました。子供よりも、私が一番楽しみにしていたのに……

長い長い夏休み、どこへも遊びに出かけられなくて、子供達にはかわいそうな事しました。父親は日帰りで海水浴へ行こうとごまかしています。子供も「あそこはまた今度行こうね」とうまくごまかされています。指切しながら「男どうしの約束だよ」なんて、えらそうな事言って、そばで聞いているとおかしくて、笑ってしまいます。残り少ない夏休みだけだと思います。いっぱいのお休みにしてあげたい、思っています。

長谷川 由美子

## 今月のことば

そのときに出逢いが

出逢い

そして

感動

人間を動かし

人間を変えてゆくものは

むずかしい理論や

理屈じゃないんだなあ

感動が

人間を動かし

出逢いが

人間を

変えてゆくんだなあ……

## ●編集後記

今年の夏は、今一歩ハッキリしないぐずついた天候が続きましたが、長かったお盆休みも終わりました。皆様、如何過ごされましたでしょうか？

森松恒例の読後感想文を、載せてみました。私自身、あまり本を読むクセをつけていないので、これから秋に向けて、読書を！と思っている今日この頃です。

そしてNewsです。森松編集部員に新人のフレッシュユガル四名も加わり、今月号より女性七名一丸となって、増々、Power upし、より新鮮な「波紋」をつくっていく様、頑張りますので、宜しく御願致します。

伊藤 ちはる

編集発行者  
森松株式会社  
発行責任者  
橋本正子  
昭和63年9月1日  
第39号